

豊後大野市発「地域元気わくわく創造事業」

大分県豊後大野市

概要

豊後大野市の周辺地域は、合併後も依然として過疎化、少子高齢化が進み、そこに生活する地域住民の日常生活や生産活動はもとより、地域コミュニティの維持すら危ぶむ状況にある。
こうした小規模集落における諸問題に対して「地域コミュニティの再生」と「小規模集落の再起動」を合い言葉に「集落営商のススメ」「今こそ集え！ 棚田十勇士」の2つの事業を実施し、集落の維持・活性化を図るとともに、自立型まちづくり活動のモデルケースになるよう支援する。



事業の内容

事業内容

○「集落営商のススメ」

地域コミュニティが中心となって地域の暮らしの安全・安心や活性化に向けて、地域内に住民自らが出資・経営・利用する「集落営商」店舗設立に向けた調査・研究、店舗実験を行う。

①集落点検・実態把握調査 ②「集落営商」店舗実験の実施・検証 ③店舗実験総括

○「今こそ集え！ 棚田十勇士」

「誇りの空洞化」現象を食い止めるため、地域住民とよそ者の視点により、地域の魅力を見つめ直し、その地域ならではの資源を活かしたツーリズムの開発と持続可能な実施体制の構築に向けた取り組みを行う。

①地元住民・有識者による資源調査 ②ワークショップ・モニターツアーの実施・検証、里山経済の仕組みづくり



ポイント

○「集落営商のススメ」・・・「地域コミュニティの再生」と「地域内循環型経済の構築」を実施する。

○「今こそ集え！ 棚田十勇士」・・・「地域への誇りと愛着」と「交流の鏡効果」を活かした取り組みを実施する。



事業の成果

○小規模集落の維持・活性化にあたっては、地域経済の成長だけではなく、むしろ地域住民が実感する地域での「暮らしの満足度」や「幸福度」をいかに高めていくかが重要である。厳しい環境に置かれている地域だからこそ、地域への誇りと愛着を礎に地域住民が主体となり、「自分たちができることは自分たちの手で」を基本として、暮らしの安全・安心や活性化に向けた取り組みがスタートし、それに対する行政・関係機関の支援のあり方や関わり方、対応に関する方向性が見い出せた。